

**駿河湾・海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアム**  
**令和7年度 第1回 コラボレイティブミーティング 議事録**

1. 日時・場所

令和8年3月2日（月）14:30-18:15

B-nest（静岡市産学交流センター）プレゼンテーションルーム  
静岡市葵区御幸町3番地の21 ペガサート6階

2. 次第

- （1）開会挨拶
- （2）駿河湾・海洋 DX 先端拠点化計画について
- （3）駿河湾・海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアムについて
- （4）神戸ブルーカーボン～神戸ならでの取り組み～
- （5）駿河湾・海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアム各研究開発テーマについて
- （6）事務連絡
- （7）閉会挨拶

3. 議事録要旨

（3）駿河湾海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアムの取組内容について、参加者から、以下の意見・提案があった。

- ・静岡市・静岡県の地域資産を有効活用し、海洋 DX 研究に役立てるべきである。例えば台船を活用した研究や実証をできないか。
- ・研究内容の公開にあたっては、ホームページ等の情報だけでは一般の方には分かりにくいいため、展示会や見える化の場を設けることが有効ではないか。

（4）今回神戸市よりご講演いただいた神戸ブルーカーボン～神戸ならでの取り組み～について、参加者から、兵庫運河において、かつての貯木場利用に伴う堆積物をどのように処理したのかという質問に対して、神戸市より以下の回答があった。

- ・水質浄化の目的で堆積物を除去したとは聞いておらず、アサリの保全やアコヤガイの養殖など二枚貝の活用を含め、生物の力も借りながら環境改善が進んだと認識している。